

2023年度 愛知学泉短期大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
52404	子どもの音楽表現 Children's musical expression	本多峰和・津島忍・ピアノ指導担当教員		専門	2	選択	2年後期

**科目の概要**

「子どもの音楽表現」はクラス授業とピアノ個人指導を並行して開講する。クラス授業では、子どもたちの音楽的表現を支え、一緒に楽しめる保育者になるための基本的な知識と技術、表現力を身につける。また就職試験において音楽表現力を存分に発揮できる力をつける。ピアノ指導では、「幼児音楽表現Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」で習得した表現力豊かな演奏や歌唱の技能を、就職試験や現場で、遺憾なく発揮できることを目指す。また、子どもたちに自らの明瞭な音楽の表現力を伝えられるようになることを目指す。指導は個人指導で行われ、就職試験や現場で使われている曲をより実践的に学習できるように配慮している。これらの学びの過程で課題を発見し、習得した知識や技術を活用し、自分なりに課題解決できる力を身につける。

学修内容	到達目標
① 手遊び・弾き歌いの導入を創造する。 ② 絵本やパネルシアター、ペープサートを音楽に繋げることを学び、実践に活かす。 ③ レッジョ・エミリアの幼児教育を理解する。 ④ グループで音楽作品を作る。 ⑤ 子どもの音楽活動を喚起するピアノ演奏に必要な表現力、技術力を身につける。	① 子どもが興味を持つような手遊び・弾き歌いの導入ができる。 ② 絵本やパネルシアター、ペープサートを音楽に活用することができる。 ③ レッジョ・エミリアの幼児教育を説明することができる。 ④ 身の回りの物を使ったアンサンブルが創作できる。 ⑤ 子どもの音楽活動を喚起するピアノ演奏と弾き歌いができる。

**学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素**      **学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例**

前に踏み出す力	主体性	技術の習得のために自ら練習をすることができる。授業の中でわからないことや疑問があればそのままにせず質問して解決することができる。
	働きかけ力	
	実行力	困難があっても目標を変更せず到達することができる。
考え抜く力	課題発見力	苦手なことも諦めず課題を見極めることができる。予習、復習の際に学習上の問題点を考えて取り組むことができる。
	計画力	
	創造力	固定観念に捉われることなくいろいろな方向から考えることができる。
チームで働く力	発信力	自分の感じたことや、考えを発表することができる。人前で恥ずかしがることなく歌唱や演奏を発表することができる。
	傾聴力	相手が言いたいことは何だろうかと考えながら聞くことができる。
	柔軟性	
	状況把握力	良い授業を作り上げるため、クラス全体の状況を把握することができる。
	規律性	遅刻、無断欠席など、学習意欲欠如をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる。欠席した場合は欠席届を提出し、フォローレポート課題を行う。
	ストレスコントロール力	

**テキスト及び参考文献**

テキスト：「手あそび・体あそび・わらべうたがいっぱい あそびうた大全集200」細田淳子著 永岡書店、「こどものうた200」1600円（予価） 小林美実編 チャイルド社、「併用曲集」（ピアノコース別の課題曲集）500円（予価） 音楽研究室編 その他、必要に応じてプリントを配布することがある。  
 参考文献：授業中、適宜紹介、指示する。  
 ・「メトードローズ ピアノ教則本」（音楽之友社）1400円（予価） ・「全訳バイエル ピアノ教則本」（全音楽譜出版社）900円（予価） 他を、ピアノ進度によって使用する。

**他科目との関連、資格との関連**

他科目との関連：幼児表現（音楽Ⅰ）（音楽Ⅱ）（音楽Ⅲ）、保育内容（表現）  
 資格との関連：保育士資格、准学校心理士

学修上の助言	受講生とのルール
・手遊びや弾き歌いの導入など、保育現場をイメージして、音楽表現の指導力を高める。音に対して常に美しい音を意識できるようにする。 ・ピアノ個人指導で演奏する曲や弾き歌いは暗譜で演奏する。いつでも演奏できるレパートリーが増えるように意識する。予習（復習）が必ず必要です。	・表現の授業なので積極的な態度で受講する。 ・前半にピアノの授業を受けた学生は後半の入れ替え時に、音楽教室にて出席確認を行う。

【評価方法】

評価対象	評価方法	評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント		
学修成果	学期末試験	45	①		実技試験を実施し、子どもたちの音楽表現を支えるに相応しい表現力、技術力を【到達目標の基準】に基づいて評価する。	
			②			
			③			
			④			
			⑤	✓		
	平常評価	小テスト	0	①		
				②		
				③		
				④		
				⑤		
レポート		0	①			
			②			
			③			
			④			
			⑤			
成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）	45	①	✓	<ul style="list-style-type: none"> <li>・手遊び・弾き歌いの導入は、遊びの要素を取り入れ子どもが興味をもてるような表現力、構成力、技術力。また、絵本やパネルシアター、ペープサートなどを用いるなど、創造力豊かな工夫も評価する。</li> <li>・授業時における個人作品発表、グループ作品発表は、姿勢、表現力、構成力、技術力を評価する。</li> <li>・グループワーク、ディスカッションの内容を評価する。</li> <li>・レッジョ・エミリアの幼児教育についてまとめたものを評価する。</li> <li>・8週目のクラス授業では弾き歌いの成果発表</li> <li>・所定のピアノ進度が達成できなかった場合は減点する。</li> <li>・【到達目標の基準】に基づいて評価する。</li> </ul>		
		②	✓			
		③	✓			
		④	✓			
		⑤				
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓	<ul style="list-style-type: none"> <li>（主体性）（実行力）（課題発見力）</li> <li>・技術の習得のために自ら練習をすることができる。（1日平均40分）</li> <li>・ピアノカルテ各期のピアノ進度が達成できなかった場合は減点する。（創造力）（発信力）</li> <li>・発表・演奏において学んだことをさらに工夫し発表することができる。（規律性）（傾聴力）</li> <li>・テキスト教材の楽譜を忘れたら、1冊につき1点を減点する。</li> <li>・授業態度、学習意欲欠如（練習不足）、課題やその他の提出物の未提出、グループ活動への非協力などが見られる場合は減点する。</li> <li>・欠席した場合は、欠席届を提出し、フォローレポート課題を行う。</li> </ul>	
			②	✓		
			③	✓		
			④	✓		
			⑤	✓		
総合評価割合		100				

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
<ul style="list-style-type: none"> <li>・幼児の音楽表現全般に対する知識と技能の獲得とバランスが特に優れている（S）幼児の音楽表現全般に対する知識と技能の獲得とバランスが優れている（A）。</li> <li>・弾き歌いの実技試験は、Aは、歌にふさわしい音楽表現が、明瞭な言葉の発音と拍動に合わせたリズム感で歌うことができると評価できる。Sは、さらに明るい笑顔で情感豊かに表現できると評価できる。</li> <li>・ピアノ実技試験は、Aは演奏に必要な技能の上達が特にみられ、表現に優れ、保育現場での実践に問題がないと評価できる。Sはさらに表情豊かに演奏でき、技能、表情共に特に優れていると評価できる。</li> <li>・授業態度に問題がなく、自ら進んで学ぼうとする姿勢が顕著である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幼児の音楽表現全般に対する知識と技能を獲得している（B）幼児の音楽表現全般に対する知識と技能を理解している（C）</li> <li>・弾き歌いの実技試験は、Cは、歌詞を間違えずに音程を正しく歌うことができる。ピアノ伴奏も間違えずに弾くことができる。Bは、対象年齢・ねらい・導入・遊び方をふまえて歌にふさわしい音楽表現ができる。</li> <li>・ピアノ実技試験は、Cは演奏に必要な技能の上達、獲得がみられ、最後まで演奏できる。Bはさらに、しっかりと安定した演奏ができる。</li> <li>・授業態度に問題がなく、自ら進んで学ぼうとする姿勢がある。</li> </ul>

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	オリエンテーション 折り紙を使った音あそびを学ぶ。(個人発表を行う) ピアノ個人指導	演習 グループワーク フィードバック (演習内容を評価する)	授業の説明を集中して聴くことができる。 ピアノ個人指導において暗譜で演奏し合格することができる。	(予習) 次のピアノ曲の練習 (復習) 様々な折り紙から、音あそびを考える。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 傾聴力 規律性
2	手遊びを学ぶ。(創作手遊びを発表する) ピアノ個人指導	演習 グループワーク フィードバック (演習内容を評価する)	手遊びを創作することができる。 ピアノ個人指導において暗譜で演奏し合格することができる。	(予習) 次のピアノ曲の練習 (復習) 配布したプリント曲の復習	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 傾聴力 規律性
3	手遊びの導入を学ぶ。(導入を考え創作手遊びを発表する) ピアノ個人指導	演習 グループワーク フィードバック (演習内容を評価する)	手遊びを創作することができる。 ピアノ個人指導において暗譜で演奏し合格することができる。	(予習) ・次のピアノ曲の練習 ・手遊びの導入とオリジナル手遊びを考える (復習) 配布したプリント曲の復習	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 傾聴力 規律性
4	手遊びの発表。(個人発表を行う) ピアノ個人指導	演習 グループワーク フィードバック (発表を評価する)	オリジナルの手遊びを考えて発表することができる。 ピアノ個人指導において暗譜で演奏し合格することができる。	(予習) 次のピアノ曲の練習 (復習) 発表されたオリジナル手遊びの復習	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
5	絵本を用いた楽器遊びの導入方法を学ぶ。(楽器遊びを考え発表する) (45分・本多) ピアノ個人指導 (45分・ピアノ指導教員)	演習 グループワーク フィードバック (演習内容を評価する)	絵本を活用した音楽表現方法について理解することができる。 ピアノ個人指導において暗譜で演奏し合格することができる。	(予習) ・次のピアノ曲の練習 ・絵本の活用方法を考える。 (復習) ・授業で学んだことを活かし絵本の活用方法を考える。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
6	音楽と共に絵本の世界を楽しむ。どのような絵本が適しているか学ぶ。(45分・本多) ピアノ個人指導 (45分・ピアノ指導教員)	演習 グループワーク フィードバック (演習内容を評価する)	音楽と絵本の組み合わせを考えることができる。 絵本を活用した音楽表現活動の基礎的技術を身に付けることができる。  ピアノ個人指導において暗譜で演奏し合格することができる。	(予習) ・次のピアノ曲の練習 ・絵本の活用方法を考える。 (復習) ・授業で学んだことを活かし絵本の活用方法を考える。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
7	絵本を用いた歌唱指導の方法を学ぶ。(歌唱指導の方法を発表する) (45分・本多) ピアノ個人指導 (45分・ピアノ指導教員)	演習 グループワーク フィードバック (演習内容を評価する)	絵本を用いて子どもが興味を持つ歌唱指導の導入を考えることができる。 ピアノ個人指導において暗譜で演奏し合格することができる。	(予習) ・次のピアノ曲の練習 (復習) ・様々な絵本の音楽的活用方法を考える。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
8	ピアノ実技中間テスト(前半はピアノ個人指導を受ける)	演習・発表の後に、クラス授業担当、ピアノ指導担当教員より内容についてフィードバックする。	マナーに気を配り、曲の最後まで歌いながら暗譜で弾ききることができる。	(予習) 演奏のみならず、立ち居振る舞い等考えて、テストに臨む。 (復習) 自身の演奏を振り返り、次回の試験に活かす。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 情況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	歌唱指導の導入方法を発表・実践する。 ピアノ個人指導	発表・演習 ディスカッション フィードバック（発表を評価する）	子どもが興味を持つ歌唱指導の導入をすることができる。良いアイデアを取り入れレパートリーを増やすことができる。 ピアノ個人指導において暗譜で演奏し合格することができる。	（予習）・次のピアノ曲の練習 ・歌唱指導の方法を考える。 （復習）・授業で学んだことを活かし歌唱指導の方法を考える。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
10	歌唱指導の導入方法を発表・実践する。 ピアノ個人指導	発表・演習 ディスカッション フィードバック（発表を評価する）	子どもが興味を持つ歌唱指導の導入をすることができる。良いアイデアを取り入れレパートリーを増やすことができる。 ピアノ個人指導において暗譜で演奏し合格することができる。	（予習）・次のピアノ曲の練習 ・歌唱指導の方法を考える。 （復習）・授業で学んだことを活かし歌唱指導の方法を考える。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
11	幼児に適したクラシック曲を身体の動きと共に表現し、音と動きの面白さを知る。 ピアノ個人指導	発表・演習 ディスカッション フィードバック（発表を評価する）	幼児に適したクラシック曲を用い、身体の動きと共に音楽を表現し、音と動きの面白さに気づき、保育現場で活かすことができる。 ピアノ個人指導において暗譜で演奏し合格することができる。	（予習）・次のピアノ曲の練習 ・歌唱指導の方法を考える。 （復習）・授業で学んだことを活かし歌唱指導の方法を考える。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 規律性
12	クリスマスの由来について書かれた絵本を知り、状況に適したクリスマスソングを習得する。 ピアノ個人指導	発表・演習 ディスカッション フィードバック（発表を評価する）	様々なクリスマスの絵本やクリスマスソングを知り、保育現場で適宜クリスマス会などの対応ができる。 ピアノ個人指導において暗譜で演奏し合格することができる。	（予習） 次のピアノ曲の練習 （復習） 自分に合った歌唱指導の方法を探る。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 規律性
13	レッジョ・エミリアの幼児教育を学ぶ。 ピアノ個人指導	講義 ディスカッション フィードバック （演習内容を評価する）	レッジョ・エミリアの幼児教育について説明できる。 ピアノ個人指導において暗譜で演奏し合格することができる。	（予習） 次のピアノ曲の練習 （復習） 配布したプリントを読み、理解を深める。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 規律性
14	日用品でのアンサンブルを学ぶ。（リズムアンサンブルを考える） ピアノ個人指導	演習 グループワーク フィードバック（演習内容を評価する）	日用品から様々な音を発見し、アンサンブルへとつなげることができる。 ピアノ個人指導において暗譜で演奏し合格することができる。	（予習） 次のピアノ曲の練習 （復習） 音の出る素材を意識する。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
15	音楽の要素の一つであるリズムの大切さを学ぶ。授業全体のまとめを行う。 ピアノ個人指導	講義・演習 ディスカッション フィードバック（演習内容を評価する）	授業内容を振り返り、リズムの大切さをさらに認識することができる。自分なりの音楽表現を考えることができる。 ピアノ個人指導において暗譜で演奏し合格することができる。	（予習） 次のピアノ曲の練習 （復習） 音につながる素材を見つけ音楽へ発展させる。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力